その医療費、決して安くはありません！

医療機関

健康保険に加入していれば、医療費負担は3割（原則）で済みます。
でも、残りの7割は健保組合が支払っていることをご存じですか？
その「健保組合の財源」は、ほかならぬ会社と被保険者のみなさまに
お支払いいただいている保険料なのです。

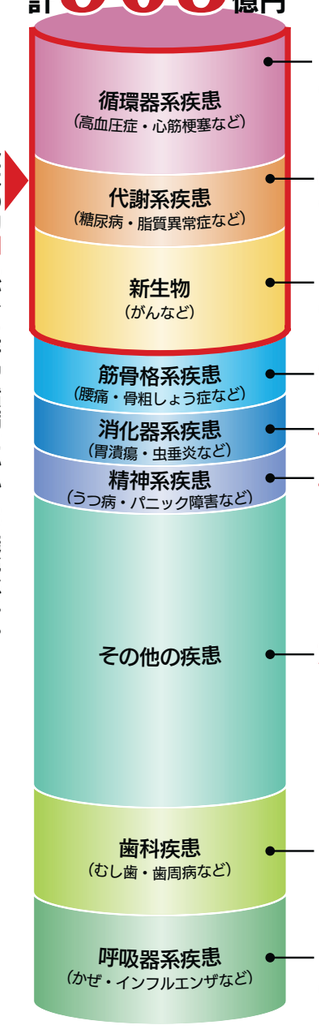
DATA①

日立健保の医療費

（2012年度／1,000万円単位四捨五入）

計905億円

全体の約31%が、生活習慣病にかかる医療費です。



日立健保に加入のみなさまが医療機関にかかった際に発生する医療費は、年間約900億円にも及びます。膨大な金額ではありますが、心がけや取り組み次第では減らすことができるかもしれません。

医療費がこんなにかかっているって、ご存じでしたか？

かかりつけ医を決めておこう

体調不良のとき、最初に診てもらうお医者さんを決めていますか？ いつも診てもらう「かかりつけ医」を決めておくと、検査データが蓄積され、過去のデータとの比較が容易になり、より効果的な医療につながります。

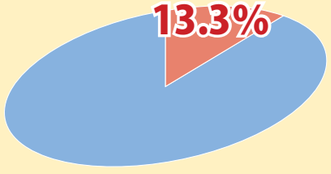
検査データの蓄積は、余分な検査や投薬を避ける効果もあり、**医療費節減にも有効**です。「話をよく聞いてくれる」をポイントに、自宅や職場近くにかかりつけ医を決めておきましょう。

はしご受診はお財布にも、体にも×

「あのお医者さんとはなんとなくウマが合わない！」「自分に合ったお薬を処方してくれない…」そんな理由だけで、お医者さんを変えていませんか？ それは「はしご受診」です。同じ病気で複数のお医者さんを渡り歩くと、**毎回初診料を払うことになりお金もかかる**うえに、診察や治療もその都度イチからやり直すことになり、体にも負担がかかります。

家計の、そして健康のためにも、はしご受診はやめましょう。

DATA②●【日立健保の実態】
月に2回以上、同じ疾病で重複受診している人の割合（2015年3月診療分）



およそ218,000人の外来受診者のうち、
29,000人が重複受診していました。